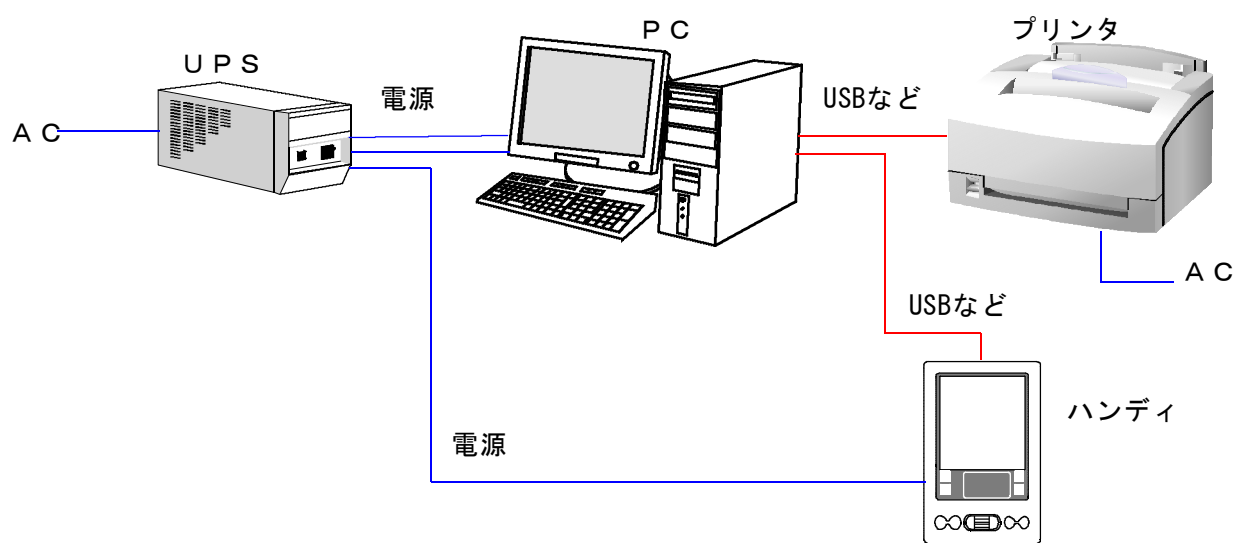


1. システムの立ち上げと終了

1. 1 本体の電源投入

標準的な接続方法

(1) スタンドアロン形式



〔 UPSとは、停電時にある程度の電力を保証する装置です。通常は充電しながら、機器に電力を供給します。 〕

PC 本体には、外部コンセントがほとんど付いていません。上記のようにUPSから電源を取るようにするとよいです。プリンタは、稼働時に大きな電源を必要とするので、UPSに余裕がないときは、別のコンセントから接続するとよいです。

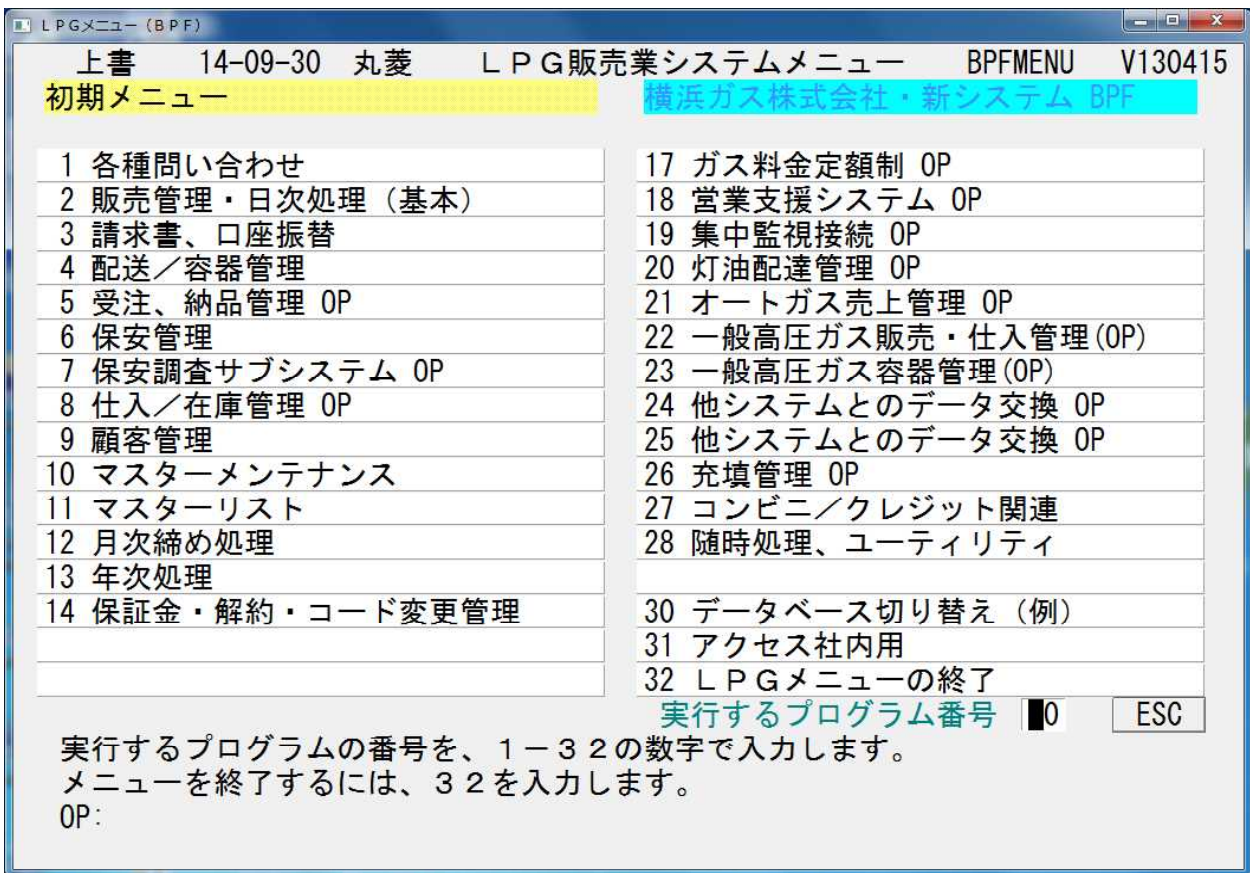
通常、電源を入れる順番は、

プリンター ---> PC本体 ---> PCモニタ

のようにします。
切るときはその逆にします。

しばらくすると、画面に次のように「メニュー」が表示されます。

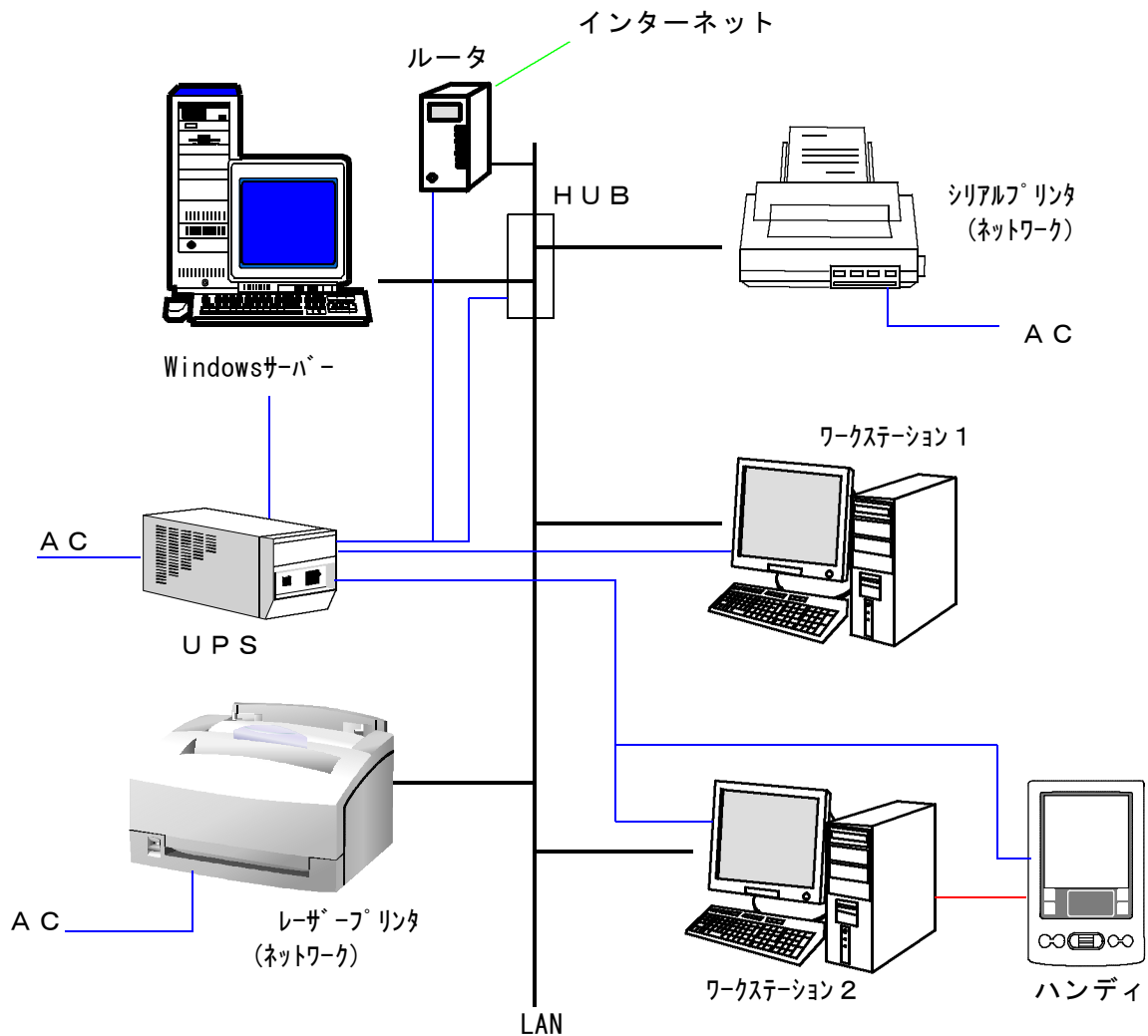
初期メニュー



この状態になれば、プログラムの実行が可能です。

- ◎スタートアップにメニュー起動を登録するかどうかは、使用環境によります。デスクトップのアイコンから起動することもあります。

(2) クライアント／サーバー形式



おおむね、このように接続します。特に、サーバと、HUBは、UPSで守る必要があります。停電時にサーバがダウンすると、重大なデータ破壊に繋がる恐れがあるからです。

すべてのWSを同時に立ち上げる必要はありません。必要なWSだけの電源をONにし、他は切ったままでよいです。プリンタも同様に、常時電源オンにしておく必要はありません。

電源を入れる場合は、次の順番に行います。

- ①ルータ (ある場合)
- ②サーバ (ログインする必要はありません。)
- ③ワークステーション (サーバが完全に立ち上がったから。)
- ④プリンタなど

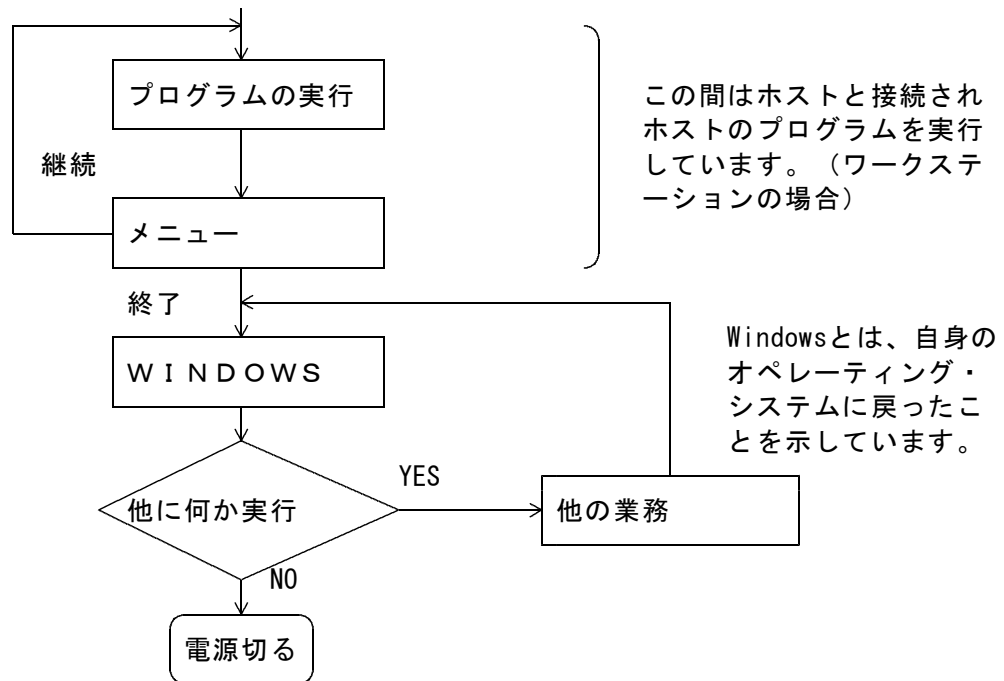
◎UPSは常にオンにしておきます。

電源を切る場合は、④から①の順番で行います。

インターネット接続が切れたりして、ルータを再起動する必要がある場合は、ルータが立ち上がってから、パソコンも再起動して下さい。

1.2 終了(電源オフ)

LPGシステムを終了して、他の業務(例えばワープロなど)を行う場合と、電源を切る場合の2通りがあります。また、スタンドアローンとクライアント/サーバーでは、電源の切り方が異なりますので注意が必要です。LPGシステムと他の業務との関係は次のとおりです。同時に実行することはできません。



(1) スタンドアローン形式

LPGシステムのメニューを終了させて、
「スタート」 → 「シャットダウン」 → 「電源を切れる状態にする」
の順にクリックします。

(2) クライアント/サーバー形式

必ず、WSの電源を始めにOFFにします。すべてのWSが停止してから、サーバーをOFFにします。サーバーをOFFにするときは、最後に停止するWSで、サーバーの停止も行います。